

本の上の映画館

 mediaSeven

4

2012 April



特集

人を変える出会い

特集 人を変える出会い

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：80名 入場：無料
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 開場は各日上映時間の30分前です。
- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

4月8日(日) 14:00～(上映時間 106分)

『子供たちの王様』

何の経験もないのに山奥の学校に赴任してきた青年。時は文化大革命のまっただ中、教科書もない劣悪な環境の中で、イデオロギーを詰め込むだけの教育に疑問を感じた彼は子供たちに自分の言葉で作文を書かせようと試みる。絵画の様に美しい陳凱歌(チェン・カイコー)の初期傑作。
監督：陳凱歌／出演：謝園、楊学文ほか／1987年／中国／DVD／字幕

4月10日(火) 19:00～(上映時間 94分)

『テオレマ』

イタリア北部、工業都市ミラノの郊外に住むブルジョワ一家に、ある日ひとりの青年が訪れる。どこか聖性を帯びた青年はそのまま居着き、家族の間に性的混乱を引き起こす。やがて青年が去るとともに一家は崩壊の道をたどりゆく。パゾリーニによる挑発的な問題作。
監督：ピエル・パオロ・パゾリーニ／出演：アンヌ・ヴィアゼムスキーほか／1968年／イタリア／DVD／字幕

4月21日(土) 14:00～(上映時間 97分)

『心の香り』

両親の離婚が決まり、会ったこともなかった祖父のもとに預けられることになった東京(チンチン)。かつて京劇の名優と謳われた祖父は、東京にとって厳しい気難し屋であった。なかなかなじめずいた二人だったが、次第に心を通わせていく…。
監督：孫周／出演：費洋、朱旭ほか／1992年／中国／DVD／字幕

4月25日(水) 19:00～(上映時間 86分)

『遠足』

オーストリア、ウィーン郊外。グギング村の神経科病院内にある「芸術家の家」。そこでは心の病を持ちながらも、ヨーロッパの画壇で天才と呼ばれる作家たちが共同作業を送っている。彼らの姿を追ったドキュメンタリー。
監督・編集：五十嵐久美子／音楽：近藤等則／1999年／日本／DVD／字幕

出会って始まる

今月の本の上の映画館は、他者との関係性について扱った映画の特集です。

『子供たちの王様』はチェン・カイコー監督自身の体験を基にした物語です。舞台は文化大革命の頃の中国です。教師の経験の全くない主人公の“やせっぽち”が田舎の小学校の教師として配属されます。今では考えられないことですが、当時は普通に起こった出来事だったそうです。静かな映像のなかにさりげない伏線が張られていて、とても見ごたえがあります。

『テオレマ』はイタリアの映画監督パゾリーニの作品です。パゾリーニといえば、複雑で難解な作風で知られていますが、今作品もとても不思議な映画です。たった一人の人物の介入によって、ブルジョワ一家は映画が始まったことは全く違う道を歩んでしまいます。ちなみに「テオレマ」とはイタリア語で「定理」という意味です。

次に『心の香り』です。両親の離婚によって、一時的に祖父に引き取られることになった少年とその祖父の物語です。淡々とした映像表現が心を打ちます。祖父役の朱旭は中国では人間国宝級の名優です。

最後に上映する『遠足』は、今月唯一のドキュメンタリー映画です。心の病を抱えた画家たちは生活している病院から外出することを「遠足」と呼んでいます。登場人物それぞれの「遠足」とは？また、我々の暮らす日常とは？と考えさせられる作品です。

多くの映画は、人と人が会おうことから始まります。映画の始めと終わりで登場人物たちはどう変わっていくのでしょうか。そして見終わった後、どう自分を変えてくれるのでしょうか？

5月の上映予定

- 7日(月) 19:00～ 『無防備都市』
- 13日(日) 14:00～ 『海外特派員』
- 19日(土) 14:00～ 『モロ・ノ・ブラジル』
- 25日(金) 19:00～ 『M』

川口市立映像・情報メディアセンター
メディアセブン

〒332-0015
埼玉県川口市川口1-1-1 キュボ・ラ7F
◎開館時間 月-金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00
◎休館日 毎月第3金曜日(機器調整日)、1月1日-4日
◎お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724
◎URL <http://www.mediaseven.jp>

